

## 国連の機能不全



【空爆後のイエメンの首都サヌア】  
空爆されると街はこうなる

過去のニュースレターにも書きましたが、この数年の世界の戦争頻発の大きな原因は国連の機能不全が原因になっていると思う。

僕が空爆されるイラクの首都バグダッドに残ったかつてのイラク戦争は国連決議と取ろうとしたし、攻撃開始まで48時間のリミットを突きつけて宣戦布告しての戦争だった。それでも戦争は良くないが、、、

今回のイラン核施設への攻撃は国連安保理を全く無視して、アメリカ単独でイランという主権国家へB2という戦略爆撃機を侵入させて攻撃をしてしまった。

## いつの世も戦争には大義名分が必要だった

無理やり作った大義名分で戦争を起こしてしまうのもナンセンスだが、今回のイランへの空爆はIAEAの核施設への査察、不十分な場合は国連決議、それでもダメなら攻撃、というプロセスを全部飛ばしてしまった。

国連憲章第2条4項には「武力による威嚇または武力の行使の禁止」という条項がある。この条項には例外が二つ設けられている。一つは国連による集団的自衛権、もう一つは国、地域による自衛権。

暴走する国があり、国連が脅威と認めた時には武力による威嚇または武力の行使が認められる、そして侵略に対しては国や地域が自衛権を行使することで武力の行使が認められている。

今回のイランへの空爆はイランが濃縮ウランを製造している、将来的に核兵器の開発につながる恐れがあるという理由だけで、空爆が実施されてしまった。

アメリカによるイランへの空爆後の日本のテレビニュースはいつものように学者さんをスタジオに呼んで「専門家」の意見を聞きながらのニュース。空爆後の初期報道はどの局もイラン攻撃による原油の高騰など今後の日本への影響ばかりを話していた。国連決議なしの大国による一方的な攻撃を「国際法違反」と報じない日本のテレビの報道姿勢に疑問符だらけだった。

## アメリカのイランへの空爆は国際法違反じゃないか

そんな日本のテレビ局が今日、一気に変わった。アメリカのイランへの空爆は国際法違反じゃないかと語り始めた。これはフランスのマクロン大統領など同盟国からも「国際法違反」という声が上がりはじめたからだ。テレビでは同盟国からも「国際法違反」だという意見が出ています！と伝える。

あたかも、週刊誌が政治家のスキャンダルをスクープした後に「週刊誌報道によりますと」と伝えるように。こんな状態だからテレビが「オールドメディア」とか「マスゴミ」などと揶揄されることになる。

TRRとしてはメディアとしてどの国を応援するとかではなく、武力行使に対する正当性の是非を訴えるために緊急ミーティングを開いた。近い将来、日本の大手メディアが弱腰だったのに、TRRでは空爆直後から国際法違反だろうと報じていたと言われる時が来るかもしれない。

## あの攻撃が戦争を終結させた

ここまでなら緊急ニュースレターを発行する事例ではないと思っていたが、戦争終結のための攻撃が広島・長崎と本質的に同じという問題発言をしたことで、緊急ニュースレターの発行を決断しました。

NATOの事務総長との会談でトランプ大統領はイランの核施設攻撃に関して、

「あの攻撃が戦争を終結させた。広島や長崎をたとえにしたいが、本質的に同じものだ。あの攻撃が戦争を終結させた」

と第二次世界大戦での広島と長崎への原爆投下になぞらえ、「本質的に同じもので戦争を終結させた」と発言し、イランへの攻撃を正当化する発言をした。



【空爆された家の前に立つ少女】

流石にこの発言には広島・長崎から怒りの声があがってる。

広島県被団協の佐久間 理事長は、「力で武力をもって解決するということをすれば、これは解決にならない」

長崎原爆遺族会の本田会長は、「核兵器の恐ろしさを全然問題にしていないというか。自分の考えたことは実行すればいいという考えですからね。ちょっと恐ろしいと思う」

記者会見で記者から「アメリカ政府へ抗議の意思はありますか」と聞かれた官房長官は「原爆投下に関するわが国の基本的な考え方は累次の機会に伝達している。引き続き緊密に意思疎通を図っていく」と述べるにとどめた。

### 被爆国である日本が一番に抗議しなければ、どの国が抗議するのだろう

日米同盟は大切だろう、関税のこともあるだろう、本当のパートナーシップとは相手が間違った時にちゃんと意見を述べてあげることだと思うのだが、

今回のトランプ発言は言い間違えでも軽率に発してしまった発言でもない。

NATOの事務総長との会談後の記者会見でトランプ大統領は再び「広島、長崎を見れば（原爆投下が）戦争を終わらせたことがわかる。今回は違う方法で終結させたが、非常に壊滅的なものだった」と発言している。

### 被爆者の人たちを必要な犠牲だと言うのだろうか

どうやら、国際法、話し合いではなく武力によって平和をもたらすのが正義だと認識しているようだ。その武力の行使で戦争は終結したかもしれないが、一瞬にして命を奪われた広島・長崎の人たち、被爆して長年苦しみを味わうことになった被爆者の人たちを必要な犠牲だと言うのだろうか。  
(久保田弘信)

#### 【追伸】

先日、TRRの定例ミーティングでアメリカのイランへの空爆の正当性に関してお話した。参加できなかった人のために、内容は久保田のYouTubeに保存されていますので、お時間ある時に是非みてください。  
<https://youtube.com/live/fmmr36VBv7Y>